

船橋市鳥類関係文献目録

三沢博志

キーワード：三番瀬、シギ・チドリ類、カモ類、都市鳥、文献調査、図書館

はじめに

自然というと、どこか遠くの海や山へ行かないとないものだと、思いこんでいたときがあった。しかし、ふと立ち止まって周りを見てみると、通勤や散歩の途中の道ばたや公園にも多くの植物や昆虫、また鳥などがいることに気付くようになった。そのときから、近くの雑木林(船橋市坪井町)をフィールドとして自然観察を始めるようになった。そして、この船橋市にどのような植物や動物が生息しているのかを知りたいと思い文献を調べ始めた。

船橋市は、千葉県の北西部にあたる東経139度59分、北緯35度41分に位置し、標高は高いところで32mほどの洪積台地と、その下にある洪積平野、更に、東京湾を埋め立てた地域とから成っている。面積は、85.6km²で、東は習志野市・八千代市、西は市川市、北は鎌ヶ谷市・白井町に接しており、南は東京湾奥の東北部に面している。人口は、約55万人で、県都千葉市に次ぐ人口を擁している。東京への通勤圏にあるため、山林や農耕地の宅地化が進みつつある。

文献調査は、船橋市内の地質・植物・動物を網羅した自然誌全般にわたり、その成果は、現在「船橋市自然誌関係文献目録」として、編集途中である。今回は、そのなかの鳥類に関する文献をまとめてみた。なお、船橋市域には、一部船橋市域が含まれる、三番瀬(船橋市・市川市)、習志野原(船橋市・習志野市・八千代市)なども含めた。

鳥類に関しては、専門の文献目録がなかったため、「千葉県自然誌関係文献目録 動物編」

「同 補遺」(千葉県自然誌資料調査会 1986～1988)や「新訂房総研究文献目録」(新羅愛子編 千秋社 1976)を手かりに調べてみた。しかし、船橋市や船橋市内の地名を付した論文や報文はほとんど見あたらなかった。江戸川、新浜、大町自然観察園のある市川市や谷津干潟のある習志野市に関する文献は多くあるのに、船橋市に関する文献の少なさに驚かざるをえなかった。それからは、図書の一部や論文・報文のなかの記述を調べるしかないと思い、関係する図書や逐次刊行物を網羅的に調べることにした。

文献調査

研究者という立場でないため、一市民の立場で調べるためには、公開されている公共図書館や博物館の資料コーナーを主な調査場所とすることとなった。

調査したのは、国立国会図書館、環境庁図書館、林野庁図書館、東京都立中央図書館、千葉県立中央図書館、千葉県立西部図書館、千葉県立東部図書館、千葉県総合教育センター、千葉県文書館、船橋市西図書館、船橋市東図書館、船橋市北図書館、船橋市中央図書館、市川市立中央図書館、我孫子市鳥の博物館、行徳野鳥観察舎、谷津干潟自然観察センターなどであった。

そのほか、限定公開機関、非公開機関として山階鳥類研究所、千葉県立中央博物館図書室や個人蔵書として桑原和之氏の資料を調べさせていただいた。

図書館では、蔵書検索はできても、内容に基づくキーワード検索、特に今回の調査のように地域資料を探すためのキーワード検索や逐次刊行物の内容検索はできていないのが現状であった。

逐次刊行物

上記の図書館等で調べた鳥に関する逐次刊行物は、おおむね次のとおりであった。なお、一部欠号等のため調べられなかった巻号もあった。

全国的な逐次刊行物としては、「鳥」(日本鳥学会 1915～1986)、「Japanese journal of ornithology」(前記の改題 1986～)、 「野鳥」(日本野鳥の会 1934～)、 「Strix」(日本野鳥の会 1982～)、 「山階鳥類研究所研究報告」(山階鳥類研究所 1952～)、 「山階鳥類研究所応用鳥学集報」(山階鳥類研究所 1980～1981)、「応用鳥学集報」(前記の改題 1982～1991)、「鳥獣報告集」(農林省畜産局→農林省山林局 1929～1940)、「鳥獣集報」(林野庁 1956～1961)、「Urban birds」(都市鳥研究会 1984～)、「日本鳥類標識協会誌」(日本鳥類標識協会 1986～)、「鳥害研究会ニュース」(応用鳥害研究会 1987～1993)、「応用鳥学ニュース」(前記の改題 1994～)、「私たちの自然」(日本鳥類保護連盟 1960～)、「自然保護」(日本自然保護協会 1960～)、「野生生物」(世界野生生物基金日本委員会→世界自然保護基金日本委員会 1971～1991)、「WWF」(前記の改題 1991～)、「WWFJ science report」(世界自然保護基金日本委員会 1992)、「WWF Japan science report」(前記の改題 1994～1996)、「動物と自然」(ニュー・サイエンス社 1971～1986)、「日本の生物」(文一総合出版 1987～1991)、「Birder」(前記の改題 1991～)がある。

千葉県内の逐次刊行物としては、「我孫子市鳥の博物館調査研究報告」(我孫子市鳥の博物館 1992～)、「千葉県立中央博物館自然誌研究報告」(千葉県立中央博物館 1990～)、「千葉生物学会会報」「千葉県生物学会会報」「生物誌—千葉県生物学会会報—」「千葉県生物誌」(千葉県生物学会 1949～1958)、「千葉生物誌」(前記の改題 1959～)、「千葉

県生物誌基礎資料」(千葉県生物学会 1955～1957)、「千葉県動物誌基礎資料」(千葉県生物学会 1962～1972)、「日本野鳥の会千葉支部報」(日本野鳥の会千葉支部 1974～1981)、「千葉県野鳥の会会報」(千葉県野鳥の会 1981～1982)、「房総の鳥」(前記の改題 1982～)、「ほおじろ」(日本野鳥の会千葉県支部 1981～)、「中央博物館だより」(千葉県立中央博物館 1989～)、「市立市川自然博物館だより」(市立市川自然博物館 1989～)、「干潟を守る」(千葉の干潟を守る会 1971～)、「すずがも通信」(行徳野鳥観察舎友の会 1979～)、「友の会ニュース」(千葉県立中央博物館友の会 1989～)がある。

なお、今回は特定地域のため、調査の対象とはしなかったが、県内には、「ほーほーどり」(我孫子市野鳥を守る会 1974～)、「ざおうぬま」(野田野鳥同好会 1977～)、「流山とりだより」(流山野鳥同好会 1992～)、「あびこ鳥だより」(我孫子市鳥の博物館 1991～)、「谷津干潟だより」(谷津干潟自然観察センター 1994～)などが発行されている。また、千葉県内関連記事も掲載している「ユリカモメ」(日本野鳥の会東京支部)、「はばたき」(日本野鳥の会神奈川支部)もある。

船橋市内の逐次刊行物としては、「丸山サンクチュアリだより」(丸山サンクチュアリ 1985～)、「みちくさ」(高根ふれんどみちくさ 1994～)、「ふるさと」(船橋自然に親しむ会 1995～)、「ユリノキ」(自然観察会たかねだい 1996～)がある。

文献目録

【A】

- 安部直哉・小林 詩. 1992. 身近で見られる日本の野鳥カタログ—鳥との語らいが今、始まる—. 159pp. 成美堂出版, 東京.
- 我孫子市鳥の博物館. 1994. 都市鳥—都会派の鳥たち—(第15回企画展). 1vol. 我孫子市鳥の博物館, 我孫子.
- 赤井 裕・桑原和之・木村裕之・武下雅文・大城明夫. 1993. コアジサシの食性. 1993年度日本鳥学会大会講演要旨集: 119.
- 赤井 裕・桑原和之. 1994. 東京湾岸におけるコアジサシの食性. 1994年度日本鳥類標識

協会大会講演要旨集：36.

赤井 裕・桑原和之. 1994. 東京湾岸における
コアジサシの食性. 日本鳥類標識協会誌9
(2): 51-52.

青柳千登世. 1951. 東邦大学附近の鳥相. *Mimosa*
1(1): 27-28.

朝日新聞社. 1990. バードウォッチング・ウォーク
東京&近郊85コース. 167pp. 朝日新聞社,
東京.

浅間 茂. 1992. 千葉県の駅前ねぐらー都市鳥
のねぐら事情ー. 野鳥 57(11): 18-19.

【B】

バーダー編集部. 1998. 写真集日本の鳥 1997.
107pp. 文一総合出版, 東京.

バーダー編集部. 1999. 写真集日本の鳥 1998.
107pp. 文一総合出版, 東京.

Birder編集部. 1999. 休日は双眼鏡を持って(2)
船橋海浜公園に行ってきました. *Birder* 13
(5): 84-85.

「房総の生物」編集委員会. 1985. 房総の生物.
292pp. 河出書房新社, 東京.

【C】

千葉県. 1982. 東葉高速鉄道(西船橋～勝田台)
建設計画に係る環境影響評価準備書.
273pp. 千葉県, 千葉.

千葉県. 1982. 東葉高速鉄道(西船橋～勝田台)
建設計画に係る環境影響評価準備書 資料
編. 250pp. 千葉県, 千葉.

千葉県. 1983. 東葉高速鉄道(西船橋～勝田台)
建設計画に係る環境影響評価書. 387pp. 千
葉県, 千葉.

千葉県. 1995. (仮称)西八千代駅北部特定土地
区画整理事業・(仮称)坪井特定土地区画
整理事業に係る環境影響評価準備書(合本
資料). 1vol. 千葉県, 千葉.

千葉県. 1995. (仮称)坪井特定土地区画整理事
業に係る環境影響評価書. 765pp. 千葉県,
千葉.

千葉県土木部・千葉県企業庁. 1998. 市川二期
地区・京葉港二期地区計画に係る環境の現
況について 要約版. 336pp. 千葉県土木
部・千葉県企業庁, 千葉.

千葉県土木部・千葉県企業庁. 1998. 市川二期
地区・京葉港二期地区計画に係る環境の現
況について 概要版. 31pp. 千葉県土木部・

千葉県企業庁, 千葉.

千葉県土木部・千葉県企業庁. 1999. 市川二期
地区・京葉港二期地区計画に係る補足調査
結果報告書 予測編 概要版. 36pp. 千葉
県土木部・千葉県企業庁, 千葉.

千葉県環境部自然保護課. 1976. 千葉県鳥類目
録 昭和50年度. 134pp. 千葉県, 千葉.

千葉県環境部自然保護課. 1986. 千葉県鳥類生
息分布図作成調査報告書. 92pp. 千葉県環
境部自然保護課, 千葉.

【E】

枝恵太郎. 1987. 八王子神社の森の鳥類相. 千
葉県環境部自然保護課(編). 千葉県自然
環境保全地域等適地調査報告書 I,
PP221-224. 千葉県環境部自然保護課, 千
葉.

遠藤光史・川名純一・杉山 茂・中込良之. 1988.
行徳人工干潟付近の鳥類. 雑木林(6): 13-
15.

【F】

藤岡エリ子・藤岡純治・稲田浩三. 1996. シギ・
チドリ全国カウント報告書 1996年春.
80pp. 日本湿地ネットワーク・シギチドリ
委員会, 豊橋.

藤岡エリ子・藤岡純治・稲田浩三・桑原和之.
1997. シギ・チドリ全国カウント報告書
1996年秋. 130pp. 日本湿地ネットワーク・
シギチドリ委員会, 豊橋.

藤岡エリ子・藤岡純治・稲田浩三・桑原和之.
1997. シギ・チドリ全国カウント報告書
1997年春. 271pp. 日本湿地ネットワーク・
シギチドリ委員会, 豊橋.

藤岡エリ子・藤岡純治・稲田浩三・桑原和之.
1998. シギ・チドリ全国カウント報告書
1997年秋. 265pp. 日本湿地ネットワーク・
シギチドリ委員会, 豊橋.

藤岡エリ子・藤岡純治・稲田浩三・桑原和之.
1998. シギ・チドリ全国カウント報告書
1998年春. 192pp. 日本湿地ネットワーク・
シギチドリ委員会, 豊橋.

藤岡エリ子・藤岡純治・稲田浩三・桑原和之.
1999. シギ・チドリ全国カウント報告書
1998年秋. 176pp. 日本湿地ネットワーク・
シギチドリ委員会, 豊橋.

フジタ(株). 1992. 工業団地造成事業(仮称)

- 船橋ハイテクパーク)に係る環境保全計画書 資料編。
- 船橋市. 1985. (仮称) 船橋市南部清掃工場建設に伴う環境影響評価準備書 資料編。
- 船橋市. 1992. (仮称) 船橋市第三清掃工場建設に伴う環境影響評価書 資料編。
- 船橋市. 1992. 終末処理場の建設に係る(仮称・高瀬下水処理場)環境影響評価書 資料編. 283pp. 船橋市, 船橋。
- 船橋市環境部環境保全課. 1995. 船橋市自然環境調査報告書 平成5~6年度. 208pp. 船橋市環境部環境保全課, 船橋。
- 船橋市環境部環境保全課. 1995. 船橋市の自然環境—船橋市自然環境調査概要版—. 13pp. 船橋市環境部環境保全課, 船橋。
- 船橋市経済部農水産課. 1982. 船橋浦生物誌. 99pp. 船橋市経済部農水産課, 船橋。
- [H]**
- 長谷川博. 1989. 人工都市の鳥事情. *Urban birds* 6(4): 71.
- 長谷川政雄. 1988. ムクドリ就峙対策について. *Urban birds* 5(4): 76-77.
- 林庭弘征. 1995. 東京湾岸のシギ・チドリ 1990~1994. *ユリカモメ*(472): 17-19.
- [I]**
- 井田俊明. 1992. 街に眠る鳥たち—都市鳥のねぐらを見る—. *アニマ* 20(12): 58-64.
- 飯塚秀雄. 1978. ミニ探鳥地案内 第2回《坪井町・船橋市指定林》. *日本野鳥の会千葉支部報*(46): 16-17.
- 石川 勉. 1977. 谷津干潟の鳥. *野鳥* 42(10): 24-29.
- 石川 勉. 1993. 東京湾の渡り鳥. 246pp. 晶文社, 東京.
- 石川 勉. 1996. 谷津干潟の鳥. *野鳥* 61(7): 9-11.
- 伊藤正道. 1975. 千葉県にもヤツガシラ. *野鳥* 40(6): 42-43.
- 岩本重治. 1985. 駅を生活の場とする鳥. *遺伝* 39(5): 45-47.
- 岩本重治. 1985. 市街地のムクドリの峙. *Urban birds*(14): 2-3.
- 岩本重治. 1986. 身近な自然を見つめよう—都市鳥の生活とその教材化—. *千葉県立市川東高等学校紀要*(1): 18-24.

岩瀬 徹. 1987. 二宮神社の森. 千葉県環境部自然保護課(編). 千葉県自然環境保全地域等適地調査報告書 I, PP179-196. 千葉県環境部自然保護課, 千葉.

[J]

住宅・都市整備公団首都圏都市開発本部. 1992. 船橋市坪井地区土地区画整理事業環境影響評価調査 現況調査報告書 資料編.

[K]

- 柿澤亮三. 1980. 黒田長禮博士寄贈の鳥類標本目録 I. タイプ標本および非スズメ目. *山階鳥類研究所研究報告* 12(3): 54-74.
- 鎌ヶ谷市郷土資料館. 1999. 鎌ヶ谷の野鳥—野鳥観察カードのまとめから—(鎌ヶ谷市郷土資料館調査報告書 VII). 72pp. 鎌ヶ谷市郷土資料館, 鎌ヶ谷.
- 金井 裕. 1992. ガン・カモ・ハクチョウ類(全国一斉調査があきらかにしたこと). *ほおじろ*(129): 4-7.
- 環境庁. 1978. 鳥類観測ステーション運営 総合解析報告 昭和48年度~昭和52年度. 251pp. 環境庁, 東京.
- 環境庁自然保護局野生生物課. 1994. 第25回ガンカモ科鳥類の生息調査報告書. 297pp. 環境庁自然保護局野生生物課, 東京.
- 環境庁自然保護局野生生物課. 1995. 第26回ガンカモ科鳥類の生息調査報告書. 342pp. 環境庁自然保護局野生生物課, 東京.
- 環境庁自然保護局野生生物課. 1996. 第27回ガンカモ科鳥類の生息調査報告書. 345pp. 環境庁自然保護局野生生物課, 東京.
- 環境庁自然保護局野生生物課. 1997. 第28回ガンカモ科鳥類の生息調査報告書. 343pp. 環境庁自然保護局野生生物課, 東京.
- 環境庁自然保護局野生生物課. 1997. シギ・チドリ類渡来湿地目録. 193pp. 環境庁自然保護局野生生物課, 東京.
- 環境庁自然保護局野生生物課. 1998. 第29回ガンカモ科鳥類の生息調査報告書. 345pp. 環境庁自然保護局野生生物課, 東京.
- 神崎高歩・箕輪義隆・矢作英三・佐藤浩二. 1998. 航空写真をもちいたスズガモの個体数調査方法の検討. *Strix* 16: 143-147.
- 唐沢孝一. 1987. マン・ウォッチングする都会の鳥たち. 261pp. 晶文社, 東京.

- 唐沢孝一. 1989. スズメのお宿は街のなかー都市鳥の適応戦略ー. 260pp. 中央公論社, 東京.
- 唐沢孝一・中村一恵・越川重治・大庭健二・川内 博. 1990. シンポジウム・「都会の鳥たちの夜」報告書. *Urban birds* 7(2): 20-33.
- 唐沢孝一. 1990. 都市鳥の罫に関する全国アンケート結果. *Urban birds* 7(2): 34-45.
- 唐沢孝一. 1991. ネオン街に眠る鳥たちー夜鳥生態学入門ー. 242pp. 朝日新聞社, 東京.
- 唐沢孝一. 1992. 都市鳥ウォッチングー平凡な鳥たちの非凡な生活ー. 238pp. 講談社, 東京.
- 唐沢孝一・叶内拓哉. 1993. 都会の野鳥は夜も飛ぶー新発見! おもしろ生態学ー. 204pp. 祥伝社, 東京.
- 唐沢孝一. 1994. 都市の鳥ーその謎にせまるー. 151pp. 保育社, 大阪.
- 唐沢孝一. 1995. 早起きカラスはなぜ三文の得かー都市鳥たちの24時間ー. 222pp. 実業之日本社, 東京.
- 唐沢孝一. 1997. 都市の鳥類図鑑ー街にすむ巧みな戦略家ー. 238pp. 中央公論社, 東京.
- 唐沢孝一. 1997. 校庭の野鳥. 171pp. 全国農村教育協会, 東京.
- 唐沢孝一. 1997. 早起きカラスはなぜ三文の得かー都市の野鳥誌ー. 267pp. 中央公論社, 東京.
- 唐沢孝一・越川重治. 1999. 千葉県の都市の鳥. 千葉県生物学会 (編). 千葉県動物誌, PP1014-1019. 文一総合出版, 東京.
- 川内 博. 1997. 大都会を生きる野鳥たちー都市鳥が語るヒト・街・緑・水ー. 246pp. 地人書館, 東京.
- 川内 博. 1999. 都会で眠る鳥たち. *Birder* 13(12): 32-39.
- 桐原政志. 1997. 1997年ガンカモ類調査報告. ほおじろ(198): 3-6.
- 桐原政志. 1998. 三番瀬・谷津干潟・幕張埋立地シギ・チドリ類移動調査報告. ほおじろ(203): 3-6.
- 桐原政志. 1999. 1998年カモ類調査報告. ほおじろ(215): 3-6.
- 桐原政志. 1999. 1999年カモ類調査報告. ほおじろ(223): 3-6.
- 橘川次郎. 1955. 千葉県の鳥. 千葉県生物誌基礎資料 5(1・2): 20-32.
- 橘川次郎. 1962. 千葉県の鳥類目録. 千葉県動物誌基礎資料 1: 68-80.
- 清棲保之. 1952. 日本鳥類大図鑑 3vols. 大日本雄辯会講談社, 東京.
- 清棲保之. 1965. 日本鳥類大図鑑 増補新訂版 3vols. 講談社, 東京.
- 清棲保之. 1978. 日本鳥類大図鑑 増補改訂版 4vols. 講談社, 東京.
- 小島久佳. 1989. シギ・チドリ一斉カウント調査結果について. ほおじろ(102): 3-6.
- 越川重治. 1989. 電線でさえざるウグイス ②. *Urban birds* 6(2): 48.
- 越川重治. 1991. 都市に増えてきたムクドリの集団ねぐら. 日本の生物 5(4): 18-25.
- 越川重治. 1991. 都市鳥と照明との関係. *Urban birds* 8(1): 1.
- 越川重治. 1992. 全国主要都市の都市鳥1990ームクドリー. *Urban birds* 9(2): 57-59.
- 越川重治. 1993. ムクドリ都市部での集団罫と人工構築物での集団罫. *Urban birds* 10(1): 27-32.
- 越川重治. 1994. 駅のプラットホームで繁殖するキジバトの高い繁殖成功率. *Urban birds* 11(2): 80-83.
- 越川重治. 1994. ムクドリの都市罫に出現したオオタカ. *Urban birds* 11(2): 86-87.
- 越川重治. 1995. 千葉県の鳥類. 日本生物教育会第50回全国大会(千葉大会)記念誌作成部(編). 千葉県の生物 新版, PP71-86. 日本生物教育会第50回全国大会実行委員会, 船橋.
- 越川重治. 1997. 都市部でのムクドリの罫場所の変化と人為的影響. *Urban birds* 14(1): 16-31.
- 越川重治. 1998. 商品を盗むハシブトガラス. *Urban birds* 15(2): 70.
- 越川重治. 1999. ムクドリの雨天時における人工建造物への罫場所の移行. *Urban birds* 16(1): 31-32.
- 越川重治. 1999. 学校の校庭に就罫前集合をすむムクドリ. *Urban birds* 16(1): 33-34.
- 香原知志. 1999. どうなる東京湾の干潟の生き物. 55pp. 大日本図書, 東京.

- 黒田長久. 1956. ムクドリの調査 第1報(続). 山階鳥類研究所研究報告(8): 8-18.
- 黒田長久. 1956. ムクドリの調査 第2報 蕃殖(1). 山階鳥類研究所研究報告(9): 27-38.
- 黒田長久. 1962. 関東平野におけるムクドリの冬季峙配置及び採食分布について. 山階鳥類研究所研究報告 3(3): 10-20.
- 黒田長久. 1966. オオミズナギドリの関東への大量迷行について. 山階鳥類研究所研究報告 4(5): 120-128.
- 黒田長禮. 1918. 鶺鴒千鳥類圖説. 485pp. 裳華房書店, 東京.
- 黒田長禮. 1981. 鶺鴒千鳥類圖説 復刻版. 485pp. 出版科学総合研究所, 東京.
- 黒田長禮. 1969. 日本産ガン・カモ科鳥類の渡来地表 II. 鳥 19(86): 45-63.
- 黒田長禮. 1969. 日本産ガン・カモ科鳥類の渡来地表 III. 鳥 19(87): 15-30.
- 黒田長禮. 1969. 日本産ガン・カモ科鳥類の渡来地表 IV. 鳥 19(87): 31-47.
- 桑原和之・嶋田哲郎・箕輪義隆・早川雅晴・井原利枝・丸山 翠・須田久子. 1992. 千葉市幕張埋立地のコアジサシの繁殖状況. 1992年度日本鳥学会大会講演要旨集: 121.
- 桑原和之・箕輪義隆・嶋田哲郎・早川雅晴・石川 勉. 1992. 東京湾岸におけるコアジサシの個体数変動. 1992年度日本鳥学会大会講演要旨集: 122.
- 桑原和之・田中利彦・田久保晴孝・箕輪義隆・嶋田哲郎・寺田一哉. 1993. 東京湾奥部の鳥類相 1. 船橋市船橋中央埠頭の鳥類相. 1993年度日本鳥学会大会講演要旨集: 44.
- 桑原和之・糠谷 隆・木幡冬樹・石川 勉. 1993. チュウシャクシギの峙での個体数変動. 1993年度日本鳥学会大会講演要旨集: 88.
- 桑原和之・箕輪義隆・寺田一哉・嶋田哲郎・田久保晴孝・仁科研一・蓮尾純子・東 良一. 1993. 東京湾奥部の鳥類相 2. シギ、チドリ類の干潟間の移動. 1993年度日本鳥学会大会講演要旨集: 90.
- 桑原和之・仁科研一・箕輪義隆・嶋田哲郎・早川雅晴・石川 勉・田中利彦. 1993. コアジサシの個体数変動. 1993年度日本鳥学会大会講演要旨集: 116.
- 桑原和之・早川雅晴・井尻謹絵・仁科研一・箕輪義隆・嶋田哲郎・今井亜希子・一澤 圭. 1993. 千葉県におけるコアジサシの繁殖状況. 1993年度日本鳥学会大会講演要旨集: 127.
- 桑原和之・田中利彦・田久保晴孝・箕輪義隆・嶋田哲郎. 1994. 千葉県船橋市船橋中央埠頭の鳥類相と個体数変動. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告 3: 37-70.
- 桑原和之・早川雅晴. 1994. コアジサシに繁殖地の確保をー日本におけるコアジサシの生息調査と保護ー. WWF(211): 21-22.
- 桑原和之・箕輪義隆・嶋田哲郎・早川雅晴・石川 勉. 1994. コアジサシの個体数変動. 1994年度日本鳥類標識協会大会講演要旨集: 16-17.
- 桑原和之・箕輪義隆・早川雅晴・木幡冬樹・石川 勉・内田 博・北川捷康. 1994. コアジサシの個体数変動と渡り. 1994年度日本鳥学会大会講演要旨集: 110.
- 桑原和之・早川雅晴・木幡冬樹・箕輪義隆・佐藤達夫. 1994. 千葉県における1994年のコアジサシの繁殖状況. 1994年度日本鳥学会大会講演要旨集: 113.
- 桑原和之・箕輪義隆・嶋田哲郎・早川雅晴・石川 勉. 1994. コアジサシの個体数変動. 日本鳥類標識協会誌 9(2): 43-44.
- 桑原和之・箕輪義隆・早川雅晴・木幡冬樹・嶋田哲郎. 1996. 湾岸都市千葉市の鳥類 3ーコアジサシの生態、特にその繁殖ステージについてー. 千葉自然環境調査会(編). 千葉市野生動植物の生息状況及び生態系調査報告書, PP483-504. 千葉市環境衛生局環境部, 千葉.
- 桑原和之・箕輪義隆・早川雅晴・木幡冬樹・嶋田哲郎. 1997. 湾岸都市千葉市の鳥類 3ーコアジサシの生態、特にその繁殖ステージについてー. 中村俊彦・長谷川雅美・藤原道郎(編). 湾岸都市の生態系と自然保護ー千葉市野生動植物の生息状況及び生態系調査報告ー, PP483-504. 信山社サイテック, 東京.
- 桑原和之・田久保晴孝. 1997. 鳥類相. 沼田 眞・風呂田利夫(編). 東京湾の生物誌, PP299-322. 築地書館, 東京.
- 桑原和之・箕輪義隆. 1998. 干潟の鳥類相. Birder

12(4): 27-33.

桑原和之・石川 勉・和仁道大・井尻謹絵. 1999. 習志野市谷津干潟とその周辺の鳥類目録. 千葉県生物学会 (編). 千葉県動物誌, PP995-1013. 文一総合出版, 東京.

桑原和之・箕輪義隆・石毛久美子. 1999. 三番瀬の鳥類—春の鳥類相. 遺伝53(10):85-90.

桑原和之・白田仁志・石黒夏美・石毛久美子・箕輪義隆・澤口晶子・志知友美. 1999. 東京湾岸におけるコアジサシの個体数変動. 1999年度日本鳥学会大会講演要旨集:104.

桑原和之・箕輪義隆・田久保晴孝. 1999. 三番瀬の鳥類相. 1999年度日本鳥学会大会講演要旨集:116.

桑原和之・箕輪義隆・田久保晴孝. 1999. 三番瀬・冬の鳥類相. Birder 13(11):44-54.

桑田宗一. 1929. 昭和4年ツバメ初渡来其他. 鳥6(27):144.

桑田宗一. 1930. カササギ渡来. 鳥6(30):441.

【M】

丸山サンクチュアリ. 1997. 自然への心. 224pp. 丸山サンクチュアリ, 船橋.

松田道生. 1969. ヒレンジャク便り. 野鳥34(9):38-39.

松山資郎・杉森文夫. 1985. 農林省鳥獣調査室標識鳥回収一覧(2). 応用鳥学集報5(2):120-140.

松山資郎・杉森文夫. 1986. 農林省鳥獣調査室標識鳥回収一覧(3). 応用鳥学集報6(1):48-85.

松山資郎・杉森文夫. 1986. 農林省鳥獣調査室標識鳥回収一覧(4). 応用鳥学集報6(2):100-124.

松山資郎・杉森文夫. 1987. 農林省鳥獣調査室標識鳥回収一覧(5). 応用鳥学集報7(2):70-98.

箕輪義隆・矢作英三. 1998. 日本のシギ・チドリ類の主要な渡来地—渡りの中継地である干潟について—. 私たちの自然(438):10-13.

箕輪義隆・桑原和之・嶋田哲郎. 1999. 東京湾海上の鳥類相. Strix 17:31-41.

三島冬嗣. 1957. ヒメクイナ類及びバンの越冬と渡去. 鳥獣集報16(1):121-122.

三島冬嗣. 1961. シギ科の比較的少ない3種.

鳥獣集報18(1):223-226.

森田美穂・金井 裕・植田睦之・成末雅恵・小坂正俊・梶希代美. 1997. 東京湾における底生生物の生息量と生息する鳥類との関係. Strix 15:63-68.

森田三郎. 1977. シロチドリ等と共に—東京湾岸の埋立地におけるシロチドリ・コチドリ・コアジサシのコロニー—. 野鳥42(4):46-51.

【N】

中阿地圭一郎. 1994. ミヤコドリ飛んだ. Birder 8(7):76.

中村俊彦. 1987. 船橋八坂神社周辺の植生と鳥類. 千葉県環境部自然保護課 (編). 千葉県自然環境保全地域等適地調査報告書 I, PP165-177. 千葉県環境部自然保護課, 千葉.

中西悟堂. 1934. 鶺鴒・千鳥獵雑話. 野鳥1(6):156-164.

中安 均・太田道幸・越川重治. 1991. 埋め立て地の公園と内陸部都市緑地との鳥相比較. 千葉県高等学校教育研究会理科部会生態教材研究グループ (編). 東京湾奥部埋め立て地の生物総合調査報告書—船橋海浜公園を中心として—, PP19-24. 千葉県高等学校教育研究会理科部会生態教材研究グループ.

並木一明. 1989. 船橋県民の森で. ほおじろ(95):8.

日本野鳥の会研究センター. 1989. ガン、カモ、ハクチョウ類の渡来地. 野鳥54(12):36-38.

日本野鳥の会研究センター. 1990. 第8回日本野鳥の会ガン・カモ・ハクチョウ類全国一斉調査(1989年)結果報告—主に記録種・個体数と種別主要記録地の全国分布について—. Strix 8:299-346.

日本野鳥の会野鳥記録委員会. 1989. 野鳥情報・観察記録(1988.1-1988.12). Strix 7:305-308.

日本野鳥の会野鳥記録委員会. 1991. 野鳥情報(1990.7-1991.6). Strix 10:315-318.

日本野鳥の会野鳥記録委員会. 1994. 野鳥情報・観察記録(1993.7-1994.7). Strix 13:265-274.

日本野鳥の会野鳥記録検討会. 1995. 野鳥情報・

- 観察記録 (1994.8-1995.7). *Strix* 14: 205-211.
- 農林省山林局. 1935. 標識鳥回収一覧 昭和9年度. 41pp. 農林省山林局, 東京.
- 農林省山林局. 1936. 標識鳥回収一覧 昭和10年度. 46pp. 農林省山林局, 東京.
- 農林省山林局. 1937. 標識鳥回収一覧 昭和11年度. 45pp. 農林省山林局, 東京.
- 農林省山林局. 1938. 標識鳥回収一覧 昭和12年度. 43pp. 農林省山林局, 東京.
- 農林省山林局. 1939. 標識鳥回収一覧 昭和13年度. 39pp. 農林省山林局, 東京.
- 農林省畜産局. 1931. 標識鳥回収一覧 昭和5年度. 34pp. 農林省畜産局, 東京.
- 農林省畜産局. 1932. 標識鳥回収一覧 昭和6年度. 34pp. 農林省畜産局, 東京.
- 農林省畜産局. 1934. 標識鳥回収一覧 昭和8年度. 41pp. 農林省畜産局, 東京.
- 農林省畜産局・農林省山林局. 1998. 鳥獣報告集 復刻版. 4vols. 皓星社, 東京.
- 農林省畜産局鳥獣調査室. 1928. 標識鳥回収一覧 自大正13年6月 至昭和3年4月. 30pp. 農林省畜産局鳥獣調査室, 東京.
- [O]**
- 小原 巖. 1960. ハイイロヒレアシシギ・シマクイナ・ツルクイナの新標品. 鳥獣集報17(2): 350-351.
- 小川弘太郎. 1916. しろふくろうノ新産地. 鳥1(3): 32.
- 大浜 清. 1993. 東京湾におけるコアジサシの現状とその保護について. 房総の鳥(229): 10-11.
- [S]**
- 齋藤源三郎. 1929. 鶉の営巢. 鳥6(27): 126.
- 齋藤源三郎. 1930. 房総の鳥界(2). 鳥6(30): 409-424.
- 齋藤源三郎. 1931. 房総の鳥界(3). 鳥7(32): 176-183.
- 齋藤源三郎. 1932. 房総の鳥界(4). 鳥7(33・34): 351-357.
- 齋藤源三郎. 1934. 営巢の状況. 野鳥1(3): 58-60.
- 齋藤源三郎. 1943. 千葉縣地方の鳥の口碑其他. 野鳥10(10): 41-46.
- 佐久間武. 1929. コウライキジの棲息. 鳥獣報告集3(4): 3-4.
- 佐藤伸枝. 1987. 我がミニサンクチュアリ. ほおじろ(76): 3.
- 沢田文夫. 1989. 電線でさえざるウグイス①. *Urban birds* 6(2): 48.
- 茂田良光・桑原和之. 1992. コアジサシの渡り. 1992年度日本鳥学会大会講演要旨集: 118.
- 茂田良光・桑原和之. 1993. コアジサシの分類、分布、渡りおよび希少度. 1993年度日本鳥学会大会講演要旨集: 115.
- 茂田良光・桑原和之. 1994. コアジサシの分布と渡り. 私たちの自然(394): 14-17.
- 茂田良光・桑原和之. 1994. コアジサシの分類、分布および渡り. 1994年度日本鳥類標識協会大会講演要旨集: 8-11.
- 茂田良光・桑原和之. 1994. コアジサシの分類、分布および渡り. 日本鳥類標識協会誌9(2): 40-41.
- 茂田良光・桑原和之・箕輪義隆. 1999. 日本におけるオナガミズナギドリ *Puffinus pacificus* の暗色型の記録. 1999年度日本鳥学会大会講演要旨集: 66.
- 嶋田哲郎. 1992. 市川市沖におけるカモ科 Anatidae 鳥類の個体数変動. *Strix* 11: 211-217.
- 嶋田哲郎. 1994. 市川市沖三番瀬の鳥類 (1990年-1992年). 千葉生物誌43(1・2): 22-28.
- 嶋田哲郎・桑原和之・箕輪義隆. 1996. 三番瀬の水鳥. 三番瀬を21世紀に残す会 (編). 「都市と海」の思考-三番瀬埋立計画に関する10の視点- (三番瀬ブックレット1), PP18-25. 三番瀬を21世紀に残す会, 市川. 鳥根県立博物館. 1978. 伊達コレクション鳥類標本目録. 128pp. 鳥根県立博物館, 松江.
- 志村英雄. 1992. 三番瀬・幕張沖の野鳥・海上予備調査. ほおじろ(129): 3.
- 新保國弘・柳沢朝江・片岡真智子・北城道夫・柄澤保彦・桑原和之. 1999. 千葉県におけるケリの繁殖初記録. *Strix* 17: 93-99.
- 白井邦彦. 1959. 鴨の雑種. 全獵24(6): 72.
- 市立市川自然博物館. 1993. 市川市鳥類目録 1986年~1991年. 47pp. 市立市川自然博物館, 市川.
- 菅野健夫. 1998. スズメの繁殖 1997. ほおじろ(204): 3-6.

- 菅野健夫. 1999. カラスが巣造りに利用した樹種について. 千葉生物誌 49(1): 46-47.
- SUN-BANDS. 1995. バードソン 1994 の結果報告. ほおじろ(165): 6.
- 鈴木 有. 1991. 野鳥の三番瀬利用. 日本自然保護協会三番瀬問題作業部会 (編). 三番瀬埋め立て(市川二期・京葉二期埋め立て)の問題点資料集(日本自然保護協会資料集 29), PP69-83. 日本自然保護協会, 東京.
- [T]**
- 高橋邦年. 1994. 船橋県民の森付近の野鳥. ほおじろ(155): 10.
- 高野伸二. 1970. 珍鳥風景(1). 野鳥 35(3): 18-20.
- 武井 進. 1988. ハクセキレイの営巣. Urban birds 5(4): 78.
- 竹中万紀子・竹中 踐. 1994. Distribution Pattern and Characteristics of Grey Starling *Sturnus cineraceus* Summer Roosts in the Eastern Kanto Area (関東地方東部におけるムクドリ *Sturnus cineraceus* の夏罫の分布パターンと特徴). Japanese journal of ornithology 43(1): 11-17, 44-45.
- 竹中 踐・竹中万紀子. 1992. ムクドリ (*Sturnus cineraceus*) の罫の全国の状況のアンケート調査. 北海道東海大学紀要理工学系(5): 25-36.
- 田久保晴孝. 1974. オオバンはどこえ. 日本野鳥の会千葉支部報(3): 2.
- 田久保晴孝. 1989. 駅舎でのハクセキレイの営巣. Urban birds 6(3): 70.
- 田久保晴孝. 1992. 東京湾・三番瀬の自然を残そう. Birder 6(5): 52-57.
- 田久保晴孝. 1992. 三番瀬の埋め立てと鳥類. 房総の鳥(218): 8-9.
- 田久保晴孝. 1992. 水鳥一斉調査' 92 春. 房総の鳥(222): 11.
- 田久保晴孝. 1993. 春の水鳥の調査メモ. 房総の鳥(231): 15.
- 田久保晴孝. 1993. 三番瀬の埋め立てと鳥類. ユリカモメ(450): 10-11.
- 田久保晴孝. 1994. 三番瀬を中心とした水鳥の移動調査. すずがも通信(86): 5-7.
- 田久保晴孝. 1994. 三番瀬を中心とした水鳥の移動. 干潟を守る(58): 14-15.
- 田久保晴孝. 1996. 水鳥から見た三番瀬干潟の価値. 自然保護(403): 15.
- 田久保晴孝. 1996. 三番瀬の水鳥. すずがも通信(93): 6-7.
- 田久保晴孝. 1998. 春の干潟案内・三番瀬. Birder 12(4): 36-37.
- 田久保晴孝. 1998. 谷津干潟・三番瀬のシギ・チドリ. すずがも通信(111): 14-16.
- 田中利彦. 1989. カモをみるならここ!. ほおじろ(103): 3-6.
- 田中利彦. 1992. 三番瀬・船橋側の鳥類 (その1). ほおじろ(132): 3-5.
- 田中利彦. 1992. 三番瀬・船橋側の鳥類 (その2). ほおじろ(133): 3-5.
- 田中利彦. 1995. 三番瀬探鳥ガイド. ほおじろ(175): 3-6.
- 田中利彦. 1997. 三番瀬の冬鳥たち. ほおじろ(193): 15.
- 田中利彦. 1998. 三番瀬・船橋側の鳥類—1985～1998年の調査から—. ほおじろ(209): 3-6.
- 田中利彦. 1998. トウネズミモチ (*Ligustrum lucidum*) の葉を採食するヒヨドリ (*Hypsipetes amaurotis*). Urban birds 15(1): 19.
- 戸辺 進. 1999. 野鳥と電車の衝突事故—鉄道によって被害を受けている野鳥の記録—. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告 7: 1-18.
- 東邦大学野鳥の会. 1970. 東邦大学周辺鳥類目録.
- 東邦大学野鳥の会. 1972. 東邦大学周辺鳥類目録.
- 東邦大学野鳥の会. 1977. 東邦大学周辺鳥類目録. 49pp. 東邦大学野鳥の会, 船橋.
- 東邦大学野鳥の会. 1979. 東邦大学周辺の鳥. 動物と自然 9(4): 22-26.
- 東邦大学野鳥の会. 1989. 東邦大学構内の鳥類. Urban birds 6(1): 2-8.
- 時田賢一・坂井治雄. 1993. 習志野市内で得られた斃死鳥リスト. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告 2: 57-59.
- 都市鳥研究会. 1988. 都市に生きる野鳥の生態. 155pp. 都市鳥研究会, 和光.
- 東野光治. 1940. 海岸にホシガラス—胃中にはマツの実—. 野鳥 7(2): 65.

【Y】

- 山根茂生. 1989. カラスとゴミ処理に関するアンケート結果報告. *Urban birds* 6(2):23-36.
- 山階鳥類研究所. 1976. 鳥類観測ステーション運営 昭和52年3月 [昭和51年度]. 188pp. 山階鳥類研究所, 東京.
- 山階鳥類研究所. 1996. 鳥類標識調査報告書(鳥類観測ステーション運営) 平成7年度. 210pp. 環境庁, 東京.
- 山階鳥類研究所. 1996. 鳥類標識調査報告書(鳥類観測ステーション運営) 平成7年度. 210pp. 山階鳥類研究所, 我孫子.
- 山階鳥類研究所. 1997. 鳥類標識調査報告書(鳥類観測ステーション運営) 平成8年度. 219pp. 環境庁, 東京.
- 山階鳥類研究所. 1997. 鳥類標識調査報告書(鳥類観測ステーション運営) 平成8年度. 219pp. 山階鳥類研究所, 我孫子.
- 山階鳥類研究所. 1997. 渡り鳥アトラス—鳥類回収記録解析報告書—(スズメ目編 1961年~1995年). 122pp. 山階鳥類研究所, 我孫子.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1978. 鳥類観測ステーション運営(昭和48年度~昭和52年度)総合解析報告. 251pp. 環境庁, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1978. 鳥類観測調査報告 昭和48年度~昭和52年度. 251pp. 山階鳥類研究所, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1979. 鳥類観測ステーション運営 昭和52年度. 219pp. 環境庁, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1979. 鳥類観測ステーション報告 昭和52年度. 219pp. 山階鳥類研究所標識研究室, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1979. 鳥類観測ステーション運営 昭和53年度. 246pp. 環境庁, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1979. 鳥類観測ステーション報告 昭和53年度. 246pp. 山階鳥類研究所標識研究室, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1980. 鳥類観測ステーション運営 昭和54年度. 272pp. 環境庁, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1980. 鳥類観測ステーション報告 昭和54年度. 272pp. 山階鳥類研究所, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1981. 鳥類観測ステーション運営 昭和55年度. 194pp. 環境庁, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1981. 鳥類観測ステーション報告 昭和55年度. 194pp. 山階鳥類研究所, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1983. 鳥類観測ステーション運営 昭和57年度. 265pp. 環境庁, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1983. 鳥類観測ステーション報告 昭和57年度. 265pp. 山階鳥類研究所, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1984. 鳥類観測ステーション運営 昭和58年度. 230pp. 環境庁, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1984. 鳥類観測ステーション報告 昭和58年度. 230pp. 山階鳥類研究所, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1986. 鳥類観測ステーション運営 昭和60年度. 227pp. 環境庁, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1986. 鳥類観測ステーション報告 昭和60年度. 227pp. 山階鳥類研究所, 我孫子.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1987. 鳥類標識調査報告書(鳥類観測ステーション運営) 昭和61年度. 183pp. 環境庁, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1987. 鳥類観測ステーション報告 昭和61年度. 183pp. 山階鳥類研究所, 我孫子.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1988. 鳥類標識調査報告書(鳥類観測ステーション運営) 昭和62年度. 206pp. 環境庁, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1988. 鳥類観測ステーション報告 昭和62年度. 206pp. 山階鳥類研究所, 我孫子.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1989. 鳥類標識調査報告書(鳥類観測ステーション運営) 昭和63年度. 232pp. 環境庁, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1989. 鳥類観測ステーション報告 昭和63年度. 232pp. 山階鳥類研究所, 我孫子.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1990. 鳥類標識調査報告書(鳥類観測ステーション運営)

- 平成元年度. 180pp. 環境庁, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1990. 鳥類観測ステーション報告 平成元年度. 180pp. 山階鳥類研究所, 我孫子.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1991. 鳥類標識調査報告書 (鳥類観測ステーション運営) 平成2年度. 197pp. 環境庁, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1991. 鳥類観測ステーション報告 平成2年度. 197pp. 山階鳥類研究所, 我孫子.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1992. 鳥類標識調査報告書 (鳥類観測ステーション運営) 平成3年度. 204pp. 環境庁, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1992. 鳥類観測ステーション報告 平成3年度. 204pp. 山階鳥類研究所, 我孫子.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1993. 鳥類標識調査報告書 (鳥類観測ステーション運営) 平成4年度. 211pp. 環境庁, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1993. 鳥類観測ステーション報告 平成4年度. 211pp. 山階鳥類研究所, 我孫子.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1994. 鳥類標識調査報告書 (鳥類観測ステーション運営) 平成5年度. 211pp. 環境庁, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1994. 鳥類観測ステーション報告 平成5年度. 211pp. 山階鳥類研究所, 我孫子.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1995. 鳥類標識調査報告書 (鳥類観測ステーション運営) 平成6年度. 188pp. 環境庁, 東京.
- 山階鳥類研究所標識研究室. 1995. 鳥類観測ステーション報告 平成6年度. 188pp. 山階鳥類研究所, 我孫子.
- 吉井 正・蓮尾嘉彪. 1969. 鳥類標識試験報告 第7回 (昭和42年度). 山階鳥類研究所研究報告 5(5): 79-101.
- 吉井 正・蓮尾嘉彪. 1974. 鳥類標識試験報告 第9回 (昭和44年度). 山階鳥類研究所研究報告 7(4): 12-33.
- 吉井 正. 1977. 鳥類標識試験報告 第13回 (昭和48年度). 山階鳥類研究所研究報告 9(3): 56-94.
- 【無署名】
無署名. 1943. ツバメ初認報告一束. 野鳥10(6): 31.
- 無署名. 1974. 電線に止まる鳥(5). 野鳥39(3): 39-46.
- 無署名. 1977. 全国・野鳥繁殖地図を作ろうーツバメ類、アマツバメ類の観察記録を送って下さい(3)ー. 野鳥42(10): 43-45.
- 無署名. 1985. 探鳥地マップ 京葉港. 房総の鳥(128): 15.
- 無署名. 1987. 行ってきましたー丸山サンクチュアリー. ほおじろ(70): 9-10.
- 無署名. 1993. 東京湾のスズガモと東京湾最奥部の現状. 自然通信(26): 2-3.
- 無署名. 1995. 夜 静と動の世界. Birder 9(3): 10-26.

目録を編集して

文献の分析については、今後専門家の手に委ねたい。ここでは、文献調査の過程で明らかになったいくつかの点のみを記しておきたい。

明治・大正・昭和前期のいわゆる戦前期における船橋市内の鳥の記録や文献は、極めて少ない。著名な探鳥地がなかったことと、鳥の研究者がほとんど住んでいなかったことが要因と思われる。そのなかで、最も古い記録は、黒田長禮. 1918. 鶺鴒千鳥類圖説. にある1901年(明治34)5月25日に下総・船橋で採集されたオオソリハシギの標本測定記録である。標本は、日本の鳥類学の礎を築いた黒田長禮氏自身の所蔵とあるが、残念ながら1945年(昭和20)の戦災により焼失してしまったものと思われる。また、最も古い文献は、日本鳥学会が1915年(大正4)5月に創刊した「鳥」の3号目にあたる1916年(大正5)12月発行の第1巻第3号に掲載された小川弘太郎. 1916. しろふくろうノ新産地. である。これは、シロフクロウの迷鳥の記録として、今日でも多くの文献が引用しているものである。同じく迷鳥の記録として、東野光治. 1940. 海岸にホシガラス. のホシガラスとともに特筆すべきものである。

千葉県鳥類研究史に欠くことのできない人物がいる。それは、齋藤源三郎氏である。齋藤氏は、明治期から昭和戦前期にかけて、「鳥」「野鳥」をはじめ、「博物学雑誌」「旅と伝説」などに県内各地の鳥の渡りや営巣等の観察記録を数多く発表した。その齋藤氏が1925年(大正14)

4月から1927年(昭和2)3月までの2年間を塚田尋常小学校の校長として勤務するため、東葛飾郡塚田村前貝塚(現在の船橋市前貝塚町)に居住していた。その当時のことは、後に、齋藤源三郎、1929. 鶉の営巢、などいくつかの報告として公にしている。

時代を問わず文献が多いのは、東京湾に面した市内南部のカモ類やシギ・チドリ類の記録である。戦後から始まった大規模な埋め立てにより環境は大きく変化したが、豊富な鳥相があるものと思われる。今日、特に、船橋市と市川市の地先に広がる三番瀬は、東京湾に僅かに残された干潟として、水鳥の生活や渡り鳥の中継に重要な地域となっている。環境庁自然保護局野生生物課、1995～1998. ガンカモ科鳥類の生息調査報告書、によると、カモ類の観察数としては、全国第一位である。特に、スズガモの渡来数は、群を抜いている。また、環境庁自然保護局野生生物課、1997. シギ・チドリ類渡来湿地目録、によれば、シギ・チドリ類の重要渡来地域としている。現在、桑原和之・箕輪義隆・石黒夏美・田久保晴孝、2000. 千葉県船橋市中央埠頭・三番瀬鳥類目録、が印刷中であり、待たれるところである。

また、新京成電鉄北習志野駅前のムクドリノ集団罫に関する文献も多く発表されている。1984年(昭和59)頃から始まった周辺住民とムクドリとの“攻防”は、依然続いているが、罫となるケヤキの剪定などにより、JR津田沼駅前や新京成電鉄高根公園駅前への分散化が進んでいるようである。都市のなかでの鳥との関係というのも船橋市の鳥を考える際に、欠かすことのできないテーマであるかもしれない。

船橋市の森林面積の減少は著しい。特に1960年代から始まった大規模住宅団地の造成が雑木林などの減少に拍車をかけた。しかし、市内北部には、船橋県民の森をはじめ、まだ森林が残っている。にもかかわらず、その地域からの鳥の観察報告が少ないように思える。今後に期待したい。

最後に、この文献目録が、都市化したとはいえ、まだ多様な自然が残る船橋市の鳥類相を明らかにし、自然環境の保全のための一助になればと思っている。そして、いずれの日にか「船橋市鳥類目録」ができることを願っている。

謝 辞

千葉県立中央博物館の桑原和之氏には、本稿の発表について助言いただいたうえ、貴重な資料を提供していただきました。

本稿作成に理解を示し、指導していただいている千葉県生物学会前会長の吉田治千葉大学名誉教授、文献についてお教えいただいたり、資料を提供していただいた千葉県立中央博物館の宮野伸也氏、千葉県立千葉高校の浅間 茂氏、日本鳥類保護連盟の矢作英三氏、山階鳥類研究所の鶴見みや古氏には大変お世話になりました。

また、発表の機会を与えていただいた我孫子市鳥の博物館の時田賢一氏、齊藤安行氏にも深く感謝いたします。

最後になりましたが、文献調査の項に記した国立国会図書館をはじめとした各図書館、博物館及び山階鳥類研究所、千葉県立中央博物館には資料の提供を受けました。ありがとうございました。

The Avifauna of Funabashi : A Bibliography

Hiroshi Misawa

Funabashi-City Kita Library 3-3-1-503, Narashinodai, Funabashi, Chiba. E-mail : m338@pastel.ocn.ne.jp